

妹也)。お母様は早く亡くなられた。「子どもを遊ばせるのりませんですよ。」謙虚で温かいお人柄、一層のご活躍を期待したい。

### 竹村亜希子さん

高校二年卒業。以前はみどりさん、若い占い師である。

この道に入ることになったのは、伝説とも思われるより

みどりさんが中学二年の春、熊本で数理学の研究をしていたという仙人めいた男性が、名古屋のお宅へ訪ねて来て、「夢でこの家を見た」といってそのまま五年間住み込んだという。そして人相・手相・易学から命理学（易学



を超えろといわれは教えを受けた。この男性は、ケネディの暗殺の前に、「西か東のリーダーが死ぬ」と予言しました。このことがみどりさ

んの生き方を決めたという。その後この男性はまた旅に出た。三人の男の子の母となった。仙人が旅に出て九年日、ある日突然霊感がひらめきこの世界の人となった。みどりさんは、企業のパライティ等で古いのコネクターを繋ぐなど新しい行き方をし、古い郵集団「古いの玉手箱」のマンションの一室で三十人のスタッフと共に、マイコンも駆使して、屋占いや東洋易学をしている。トクメエ

「不景気中の事業拡張、脱サラほか、直面する迷いの相談が中心。今年目立ったのは定年後のこと。再就職は？、積極的に運動すべきか、又独立して事業を興したら、など……」

「男性は肩書と収入の両方、女性は金より名譽、社会的な地位の確保。」又、中高年婦人の離婚相談も新しい傾向で、離婚後の収入と健康の心配、離婚の易には、双方に原因あり、と出る場合が多く、家庭は夫婦の努力で作られてゆくものと、少しでも光明がみられたら古いをバネに頑張つて下さいとお勧めします」との事。みどりさんが心を痛めるのは若い男女の結婚観と風俗観。「相性とか特性より得をするかどうかが関心の的。努力攻めの安定志向が強くて……」。そして今、広めようとしているのは「サン・シュルデイの日」というスペイン・カタルーニヤ

地方に伝わっている習慣である。四月二十三日に、男性は赤いバラを女性に、女性は本を愛する人に贈る。「スペインの守護神から起きた習慣であるが、それを日本に広め、愛のコミュニケーションを図る日」としたい。近頃の日本でめられるパレンティンダーの習慣と同列に考えてもらっては困ります」と熱を込めて語られた。

御主人もこの仕事に理解があり協力してもらえ、「男の子といえども家事もやらせるのが私の主義」とのこと。

住所 東区英一二十六一〇

ユニバーサル新栄四〇六号

### 同窓会館の四季

春ノ桜・赤目笠 夏ノさつき・新緑

秋ノ紅葉 冬ノ寒梅

お申込みお問合せは同窓会館事務局まで

電話〇五二七八一―二一五一

どうぞご利用下さい



長い歴史に  
はぐくまれてきた  
京都の料理……  
四季おりのりの  
材料の持ち味を  
生かした  
包丁の研えがうれしい  
名古屋に居ながらに  
一皿の料理に漂う  
京の風情

京料理

一味一兵 **ゼンヤ**

名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル地下 電話 241-8937

(月休)

風すらが不況に溺れる師走かな  
不況風埋火一つぽんと弾ぜ

(高女二十八回)

## 人相学で観る災害予知法

竹村 亞希子

占いの玉手箱代表。占いのスタッフ40名。占いをビジネス化し、イベント企画、新聞、雑誌、テレビ、ラジオの占いコーナー、講演、執筆も多彩にこなす。創刊以来の講談社「フライデー」の占いコーナーと、'88岐阜未来博の「世界占い館」の企画プロデュースは有名。

創立以来多くの経営者を観てきた経験から、ツキの人相、チャンスをつかめる人相、を見極める達人となる。人を見極めるコツ、人生、経営のチャンスの機を指南し、

経営者に成功の法則を説き続けている。  
不況の警鐘を鳴らす人相学  
顔の上にあられる危険予知の赤いしるし「赤星」赤い点(ニキビのようなもの)。  
まずマネー運に関して説明してみます。

るか、ルート変更するのが賢明でしょう。

さらに辺地にも赤星が現われたら、もう絶対に中止されることをオススメします。

水の事故に関しては「地庫」アゴの底一体。水難を予防する部位なので、ここに赤星が出た場合、中止を。

もうひとつ「奴僕」。法令の先あたり、アゴのくぼみの両脇あたりですが、アクシデントありということ。紛失、故障ならまだしも、足のケガも含まれています。次に重大なトラブルを予知する「赤星」について、お話ししたします。

鼻の先。人相学では準頭と呼びます。

この位置に赤星が出現したら、要注意。というよりも、ウルトラマンの胸のタイマーと同じような危険信号です。一生のうちに数回あらわれても多いぐらいですから、その危険度の高さはいくらでもありません。

進退きわまる災難のしるしです。  
金銭でいえば、倒産とか、借金取りに追いまわされるとか、財産をダマシ取られるぐらいの大事。

火災なら、住居や建物が焼失するだけでなく、身体にも厄災が及ぶでしょう。

性病に際しても出ますので、「エイズ」を疑ってもいいぐらい。身に覚えがあるなら、すぐに病院へ行くぐらいの気構えが必要ですよ。

金運は人相学上でも、鼻の下の、ちようどヒゲの生える付近(こを相学で食禄という)で識別します。ここに、金色あるいは山吹色が出たり、口のまわりが黄色く浮き出て見ると、数日後もしくは十日後、それとも一ヵ月後に大儲けするか、思わぬ大金が入ってきます。

金庫とか財布を示すのは、鼻柱の中央と鼻の穴の周囲(つまりは小鼻)です。

ここに赤星が出てくると、これはもう、お札が燃えるしるし。大金損失の兆しです。株をやっているなら、大暴落に要注意。

もう一ヵ所、右眉の上、相学で福德と呼びますが、ここに赤星が出現すると大金の損失があります。相当の金額です。その人にとつての大金ですが、必ず数日前に出てきます。

類骨のあたり(相学で賊盜)は盗難を予知する部分です。ここに赤星が出れば盗難に注意せよ、という天の声。用心にこしたことはありません。

旅行全体をみるなら「辺地」に限ります。髪が生えざわの角、ここに赤星が現われたら旅行は不吉、できるならば、取りやめるか、変更するのがよろしいでしょう。また、ときには故郷の異変がある場合も出てきます。山への旅行は「山岳」腫の上部で、額の中間あたり。ここに赤星が出たら遭難のおそれあり。やはり、中止にす

もう一つ、警察に関するトラブル

左の眉頭。人相学でいう「交鎖」。

ここに赤星が出現すると警察ごとに巻きこまれる可能性大。ご用心を。

最後に、土地に関する赤星について説明いたします。

アゴの底あたり一帯、人相学で知圍(ちかく)といいます。この位置は土地や家屋の売買、貸借に関する事件をみるどころです。もし赤星が出現したら用心すること。心して掛かれという天の声です。

土地に関しては売買だけでなく、近隣との間でもトラブルが発生しやすいためです。境界線など、ことに多いようです。

唇の下端、人相学では近隣といえます。ここに赤星が現われたら、隣近所とのトラブルの原因は自分の側にあるという証拠。

よく反省して、一刻も早く和解を務めるべきです。

占いが足かせになってしまったり、占いに振り回されてはダメです。占いは信じるものではなく、使うものです。だから、それをどう駆使するか。占いが良く出たらチャンスだと考えればいいし、悪く出たらこれ以上悪くならないように注意すればいい。

占いは単なる情報の一つですから、うまく利用すること